

HKS MUFFLER

取扱説明書

<製品番号 33002-AN001>

UA-Z33・CBA-Z33・UA-HZ33・UA-CPV35・CBA-PY50

純正置き換えタイプエキゾーストマニホールド



Pursuing the Ultimate in Engine Performance and Efficiency.
HKS Company Limited.

取説品番 E04651-N53010-00
‘07年1月29日発行
Ver.No.2-1.0A

お願い

この度は、弊社製品をお買あげいただき、誠にありがとうございます。

- ★この取扱説明書は製品を使用する際と自動車に装着する際の注意事項が詳しく記載しております。よくお読みになって、正しくお使いください。
- ★本書は、いつでも取り出して読めるように車内に大切に保管しておいてください。

もくじ

	ページ
(1) ご使用の前に必ずお読みください。	3 ~ 7
●製品の構成部品図	3
●装着可能自動車と製品仕様	4
(2) 製品についてのご説明	8
●JASMA 製品で困ったときの相談先	9
(3) 使用法	10
(4) 組付法	11 ~ 24

はじめに確認してください。

- ★この製品は下記リストの部品、付属品で構成されています。不足や不具合がある場合は、販売店またはHKS受注センター・お客様相談室までご連絡ください。
- ★装着前に落としたり、装着時に無理な力を加えると装着不良で排気漏れや故障の原因になる場合がありますので注意してください。
- ★JASMA認定書と製品のJASMAプレートの確認もお忘れなく。

構成部品及び付属品リスト	最小限必要な工具	
□エキマニ本体 (Right)	1個	ソケットレンチ10
□エキマニ本体 (Left)	1個	ソケットレンチ12
□遮熱板A(大)	1個	ディープソケットレンチ14
□遮熱板B(小)	1個	スパナ10
□ステー (遮熱板B取付け用)	1個	めがねレンチ14
□ガスケット (ヘッド側)	2枚	プラスドライバー
□ガスケット (触媒前側)	2枚	マイナスドライバー
□ガスケット (ウォーターin用)	1枚	エクステンションバーL=150
□ガスケット (Oリング)	1枚	エクステンションバーL=300
□スタッドボルト (M10 P=1.25)	2本	ラチェットハンドル
□座付ナット	2個	トルクレンチ
□六角ボルト (M8 P=1.25 L=20)	1本	スクレーパー
□スプリングワッシャ (M8)	1個	プライヤー
□プレーンワッシャ (M8)	1個	ニッパー
□サーモシール	2枚	作業用フェンダーカバー
□取扱説明書	1部	冷却水抜き取り用受け皿
□日本自動車マフラー協会 (JASMA) 認定書	1枚	
□顧客管理用はがき	1枚	

HKS MUFFLER

(1) ご使用の前に必ずお読みください
必ずお読みください。

Z33・HZ33・CPV35・PY50 純正置き換えタイプエキゾーストマニホールド



必ずお読みください。

装着可能自動車と製品仕様

□ 車名 : ニッサン フェアレディーZ・フェアレディーZ(ロードスター)
スカイラインクーペ・フーガ

□ 車両型式 : UA-Z33・CBA-Z33・UA-HZ33・UA-CPV35・CBA-PY50

□ 年式 : UA-Z33 '02/07 ~ '04/08
CBA-Z33 '04/09 ~
UA-HZ33 '03/10 ~ '04/08
UA-CPV35 '03/01 ~ '04/10
CBA-PY50 '04/10 ~

(適合車両の年式は、2007年1月現在までのものです。2007年1月以降に登録された車両への適合については、HKS受注センター・お客様相談室にお問い合わせください。)

□ エンジン型式 : VQ35DE (NA)

□ 製品名称 : 純正置き換えタイプエキゾーストマニホールド

□ 製品番号 : 33002-AN001

□ JASMA認定番号 : UA-Z33 05E002
CBA-Z33 05E006
UA-HZ33 06E016
UA-CPV35 05E003
CBA-PY50 05E005

● 本製品は日本自動車マフラー協会に認定され、製品本体には証明のためのプレートが溶接され、認定書が添付されています。購入したら最初に

★認定書に記載の車両型式 と ★装着する自動車の車検証に記載の車両型式

☆認定書に記載の表示番号 と ☆製品本体に溶接されたプレートの表示番号

★認定書に記載のエンジン型式 と ★装着する自動車のコーチョンプレートのエンジン型式
が一致することを確認してください。

万一、相違がある場合は必ず装着前に販売店またはHKS受注センター・お客様相談室まで、ご連絡ください。

また、製品の加工、改造等を行うと保証の対象外となります。

「安全にご使用いただくために」 必ずお読みください。

- 弊社の「取扱説明書」には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

本書中のマーク説明（表示と図記号）



警告

- この表示を無視して誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性がある場合。



注意

- この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性がある場合、または物的損害の発生する可能性がある場合。



お願い

- この表示を無視して誤った取扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、故障する内容及び利用できない機能や事項などの内容を示します。



警告

- 自動車のエキゾーストマニホールドやマフラーの交換は本来、設備の整った自動車整備工場で、専門の教育を受けた整備士がおこなうべき危険な作業です。専門外のお客様が作業すると怪我や火傷の可能性があるって危険です。

一酸化炭素中毒防止



警告

- エンジンをアイドリングしたまま、休憩や仮眠をすると排気ガスによる一酸化炭素中毒の危険があります。
必ずエンジンを停止してください。
- 排気ガスには有害な成分が含まれています。締め切った車庫や倉庫の中などでエンジンを動かし続けると、一酸化炭素中毒の危険があります。
エンジンを停止してください。
風向きにも注意してください。

触れると火傷



警告

- エキゾーストマニホールド、触媒コンバーターは特に高温になっていて触れると大火傷の恐れがあります。
- エンジンが動いている時あるいはエンジンを停止した後はエキゾーストマニホールド、エキゾーストパイプ、触媒、マフラーは高温になっています。特に後端のテールパイプの部分は自動車の外に露出していて触れると火傷の危険があります。
- お子様には特に注意してください。またトランクから荷物を出し入れするとき衣服がテールパイプに触れると焦げたり溶けたりする事があります。停車、駐車する際に周囲に気をつけてください。
- エキゾーストマニホールドなどにオイルやブレーキ液をこぼすと火災の恐れもあります。
- 弊社のエキゾーストマニホールドを装着すると排気効率が改善され、自動車の性能が向上する事があります。ブレーキ整備を完璧にして、自動車の制動能力を確認してから、安全に運転してください。
- 自動車の排気関係の部品は正しい取扱いをしても、自動車の使用状況や排気ガスの有害成分で消音性能が劣化したり、製品が腐食して穴があくことがあります。このような場合は速やかに販売店や整備会社に相談していただき、製品本来の性能が失われていたら弊社の製品に交換してください。腐食を放置すると排気ガスが車体の下部などに漏れて火災の危険があると同時に、整備不良車運行で運転者が罰せられことがあります。

HKS MUFFLER



警告

- 自動車の安全な整備はドライバーの法定責任です。定期点検整備は安全性と公害防止をはかる上で必要不可欠です。日常の点検はもとより定期点検や定期部品交換は、必ず実施してください。
- マフラー交換は自動車の床下作業が多いので持ち上げた自動車が不安定な状態で作業すると危険です。
必ず自動車作業専用リフトを使用して、安全に作業してください。
『2柱式リフトをお薦めします』
やむを得ずガレージジャッキを使用する場合は必ずリジットラック（うま、安全スタンド）を併用して安全に作業してください。
車載ジャッキでの作業は危険なので絶対におやめください。
- 排気関係の部品は熱いので触ると火傷します。必ず、冷えてから作業してください。
手の火傷を防ぐために作業用の手袋を着用してください。



注意

- 排気関係の部品は鋸びてボルトやナットがゆるみにくくなることがあります。スプレー式などの浸透性潤滑油を使用し、適正な工具を使用して無理のない作業を行ってください。
特に手の怪我を防ぐために作業用の手袋を着用してください。



注意

- 弊社のエキゾーストマニホールドは耐久性を考慮して、厳選された材料を使用し、厳重な社内品質管理のもとに製造されていますが、自動車の使用状況が悪いと思ったより早く腐食して穴があくことがあります。
また、石などと接触し、破損して穴があくこともあります。いずれも排気ガス漏れの原因となりますので充分に注意してください。
- 取り外した純正のエキゾーストマニホールドを保管する場合は、横置きで保管してください。立てかけて保管すると倒れて危険です。
- 自動車の排気部品は高温になります。枯れ草などの燃えやすいものの上にエンジンを動かしたまま、または停止直後に停車や駐車すると火災の危険があります。必ず自動車の下に燃えやすい物がないことを確認してから停車、駐車してください。

ご使用の前に必ずお読みください。

(2) 製品についてのご説明

- この製品は、国土交通省令で定める道路運送車両の保安基準第30条（騒音防止装置）・第31条（ばい煙、悪臭のあるガス、有害のあるガス等の発散防止装置）について4ページに掲げる車両に装着された際に、JASMA基準を満たす商品として日本自動車マフラー協会の認定を受けた製品であり、ご使用に際して、改造申請などの事前手続きは一切必要ありません。
- この製品は日本国内での使用を目的に設計されたものです。海外では使用しないでください。
 - This product is designed for use in Japan only.
 - It must not used in any other country.
- 本製品は標準車両、及びHKS製品を装着している車両への取付を基準に製作されています。上記以外の車両以外に取付けた場合は、本製品の機能、性能及び安全性について保証いたしかねます。
- この製品および付属品は、改良のため予告なく変更することがあります。



警告

- エキゾーストマニホールドやマフラーの交換は本来、設備の整った自動車整備工場等で専門の教育を受けた整備士がおこなうべき危険な作業です。専門外のお客様が作業すると怪我や火傷の可能性があり危険です。整備作業は専門の整備工場などに依頼してください。
- エキゾーストマニホールドの使用において車の性能が上がる場合があります。これに伴い燃料調整等、車両ごとのリセッティングが必要となる場合があります。これを怠ると車両の故障や破損が生じる恐れがあります。

■ 製品に関するお問い合わせは、お客様相談室にお願いいたします。

HKS MUFFLER

ご使用の前に必ずお読みください。

JASMA認定書について

- 本製品は、JASMA認定書に記載された適合車種に正しく装着された場合は、ご使用に際して改造申請などの手続きは一切必要ありません。
- JASMA認定プレートならびに構成部品の識別マークの表示位置は下図に示しております。

JASMA認定プレート位置



★製品に関するお問い合わせは、HKS受注センター・お客様相談室にお願いいたします。

★JASMA認定品で困ったこと、わからないことは下記ダイヤルへ。

JASMAがあなたをお手伝いします。

JASMAユーザーズダイヤル

042-700-2112

受付時間 9:00 ~ 12:00
13:00 ~ 17:00

(土・日・祭日・夏期休暇・年末休暇を除く)

(3) 使用法

安全にお使いいただくために必ずお守りください。

- マフラー やエキゾーストマニホールドは正しい使用法を守り、本来の性能が損なわれた場合には、速やかに交換してください。
- ご使用の際に、むやみに空ぶかしや長時間にわたるアイドリングはおやめください。消音能力低下や停滞した排気の熱害でエンジンルームの電装品など、補機部品が故障することがあります。



警告

- 弊社のエキゾーストマニホールドやマフラーを装着すると排気効率が改善され、自動車の性能が向上することができます。ブレーキ整備を完璧にして、自動車の制動能力を確認してから、安全に運転してください。

- 塩分や湿気の多い場所での保管や、放置はさけてください。機能低下や腐食の原因になります。
- ジムカーナやサーキット走行等の特殊な用途の使用では製品の耐用期間が著しく低下しますのであらかじめご了承願います。
- 不要になった自動車部品を破棄する場合は自動車整備工場や自動車部品解体業などの専門家に相談してください。

(4) 組付法



作業中の
怪我・火傷

装着作業は専門の整備工場などに依頼してください。

【(1) ご使用の前に】を充分に理解した上で実施してください。

作業前に必ずお読みください。

お願い

- 作業の前に念のため、自動車と製品が間違いなく適合するか？
車検証を確認してください。
- 純正パーツの取外し作業は自動車メーカーの作業手順どおり作業してください。
- 純正パーツと弊社製品の作業手順が異なる場合があります。その場合は、本書に記載された作業手順をよく読んで、理解してから作業してください。
- 製品を装着前および装着の際に、落としたり、強い衝撃をあたえないでください。装着不良で排気ガス漏れや故障の原因になることがありますので注意してください。
- フロントパイプ、マフラー、触媒等を純正パーツ以外のものと交換している場合、弊社のエキゾーストマニホールドとの組合せで排気効率が著しく改善され、自動車の性能が向上し、場合によってはエンジン等の破損につながることがあります。事前に、販売店等に相談した上で、正しくお使いください。

★作業者の方へのお願い

注意

- 取外した純正のエキゾーストマニホールドを保管する場合は、横置きで保管していただくよう、お客様に指導してください。
立てかけて保管すると倒れて危険です。

お願い

- 作業が終了したら、本取扱説明書は必ずお客様に返却してください。

★作業の際に必ず下記の点検をしてください。

- 純正のホース類等に割れ、ひびなどの劣化が生じていたら、純正の新品に交換してください。

警告

- エキゾーストマニホールド付近は高温になる為、ホース類の劣化によるオイル漏れ等は火災の原因となる恐れがあります。

- 再使用する純正のガスケットも充分に点検して、不良の場合は純正品の新品に交換してください。
- エキゾーストマニホールド周辺は高温になるので、周辺部品等には付属のサーモシールで万全の遮熱対策をしてください。

警告

- 遮熱対策を怠ると熱影響によりホースの破損や電機部品の故障の原因となるばかりか、車両火災の原因にもなりますので、注意してください。

組付作業手順

純正パーツ取外し

※ 文中の純正とは自動車メーカーの標準装着品の意味。

本製品は取付けを行う前に必ず読み、よく理解したうえで作業を行ってください。

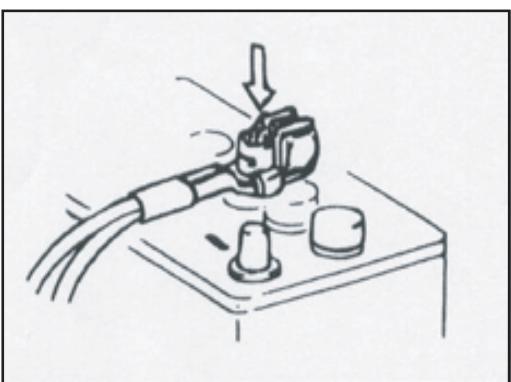
純正パーツの取付け、取外しはメーカー発行の整備要領書と本書を併用して作業を行ってください。
整備書がお手元にない場合は新たに購入してください。



- 排気系部品、エンジンが冷えてから作業を行ってください。
- 製品を装着前および装着の際に、落としたり、強い衝撃をあたえないでください。装着不良で排気ガス漏れや故障の原因になることがありますので注意してください。
- エキゾーストマニホールド周辺は非常に高温になります。必要と思われる場合、本組付作業手順以外にも十分な遮熱対策を行ってください。怠ると重大な故障や火災が発生する場合があります。
- コネクターを取り外す時、必ずコネクター本体を持って取り外してください。ワイヤーハーネスを引っ張ると断線します。
- 取付け作業のため一時に取り外す純正パーツは破損又は紛失しないように保管してください。
又、純正パーツを取付ける際間違えて取付けないように、取り外す純正パーツにはマーキングをしてください。

1. 『エキゾーストマニホールド装着作業の前に』

- (1) 冷却水を準備してください。
- (2) 車両保護のために、作業用フェンダーカバーを使用してください。



- (3) ケーブルターミナルをバッテリのマイナス端末から外し、作業を行ってください。
この作業を怠ると、感電、又はショートによる車両破損がおきる可能性があります。

HKS MUFFLER

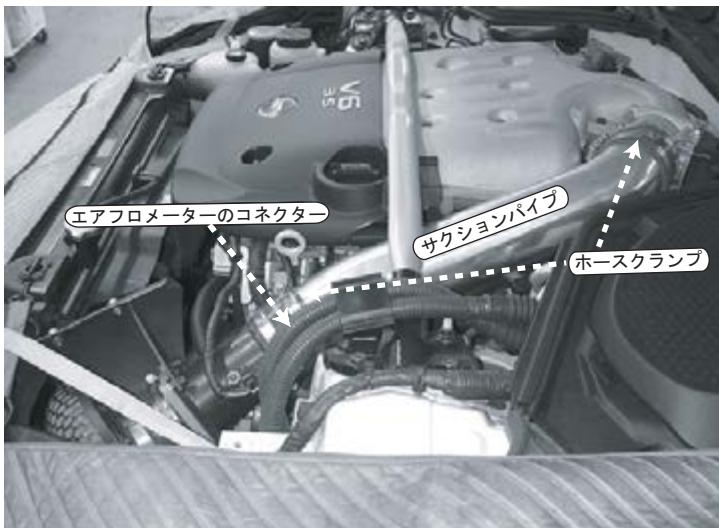
2. 『純正パーツ取外し』

- (1) マフラーをキャタライザー後側フランジより取外してください。
- (2) トランスミッション下にあるO2センサーをコネクターより取外し、キャタライザーブラケットを取外してください。



- O2センサーワイヤーハーネスのコネクターを取り外す時、必ずコネクター本体を持って取外してください。
ワイヤーハーネスを引っ張ると断線するおそれがあります。

- (3) キャタライザーを取り外してください。
- (4) アンダーカバーを取り外してください。
- (5) ストラットタワーバーを取り外してください。
- (6) ラジエータドレーンプラグ及びラジエータキャップを取り外し、冷却水を抜いてください。



- (7) サクションパイプを取り外してください。エアフロメーターのコネクターを抜き、エアクリーナー及びゴムホースを取り外してください。【図1】

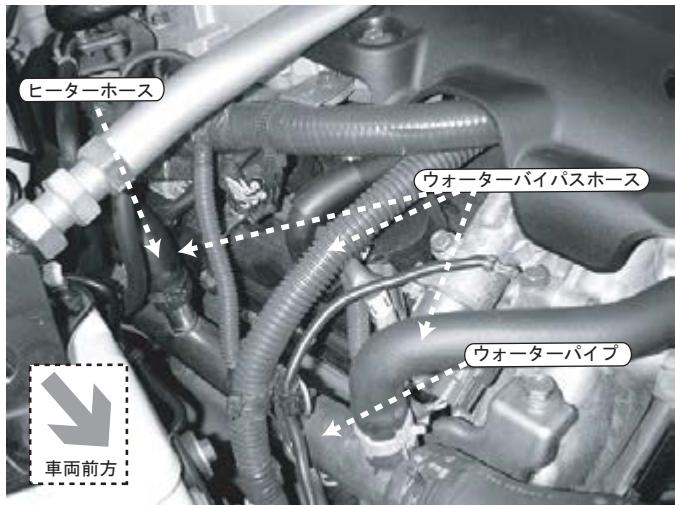
【図1】エアクリーナー及サクションパイプ周辺（車両上部左側）



- エアフロメーターのコネクターを取り外す時、必ずコネクター本体を持って取外してください。ハーネスを引っ張ると断線するおそれがあります。

- (8) ラジエータからラジエータアップホースを取り外してください。
- (9) エンジンヘッドカバーを取り外してください。
- (10) オーターパイプからハーネスクリップ（3ヶ所）を取り外してください。

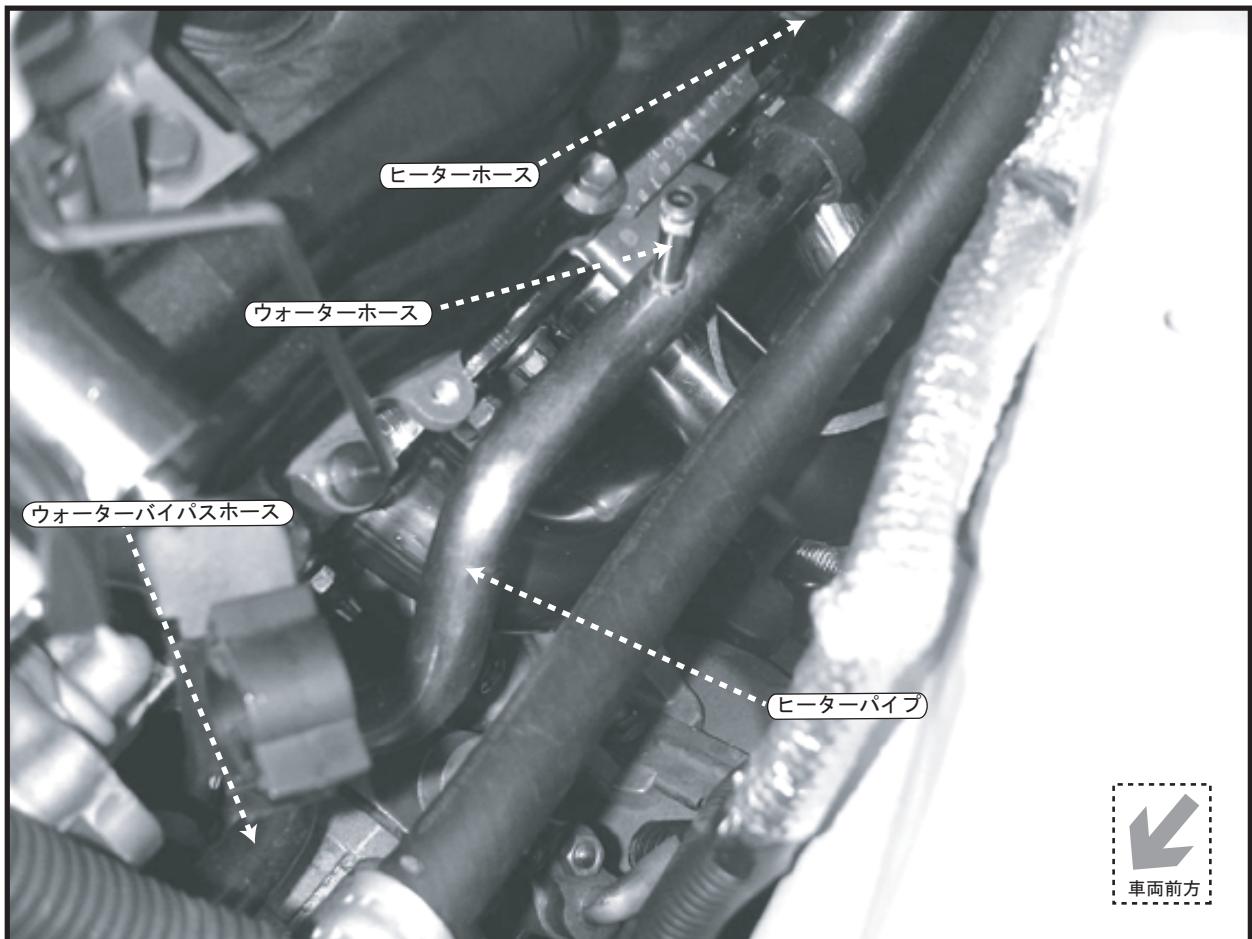
(11) ウォーターパイプからウォーターバイパスホース（3本）とヒーター hoses を取外してください。【図2】



【図2】ウォーターパイプ及びホース周辺（車両上部右側）

(12) ウォーターアウトレットとウォーターパイプ接合部のボルトを取り外し、ウォーターパイプをウォーター オウトレットから取外してください。

(13) ヒーター ホース、ウォーター ホース及びウォーターバイパス ホースを引き抜き、ヒーター パイプを 取外してください。【図3】



【図3】ヒーター ホースとウォーターバイパス ホース周辺（車両上部左側）

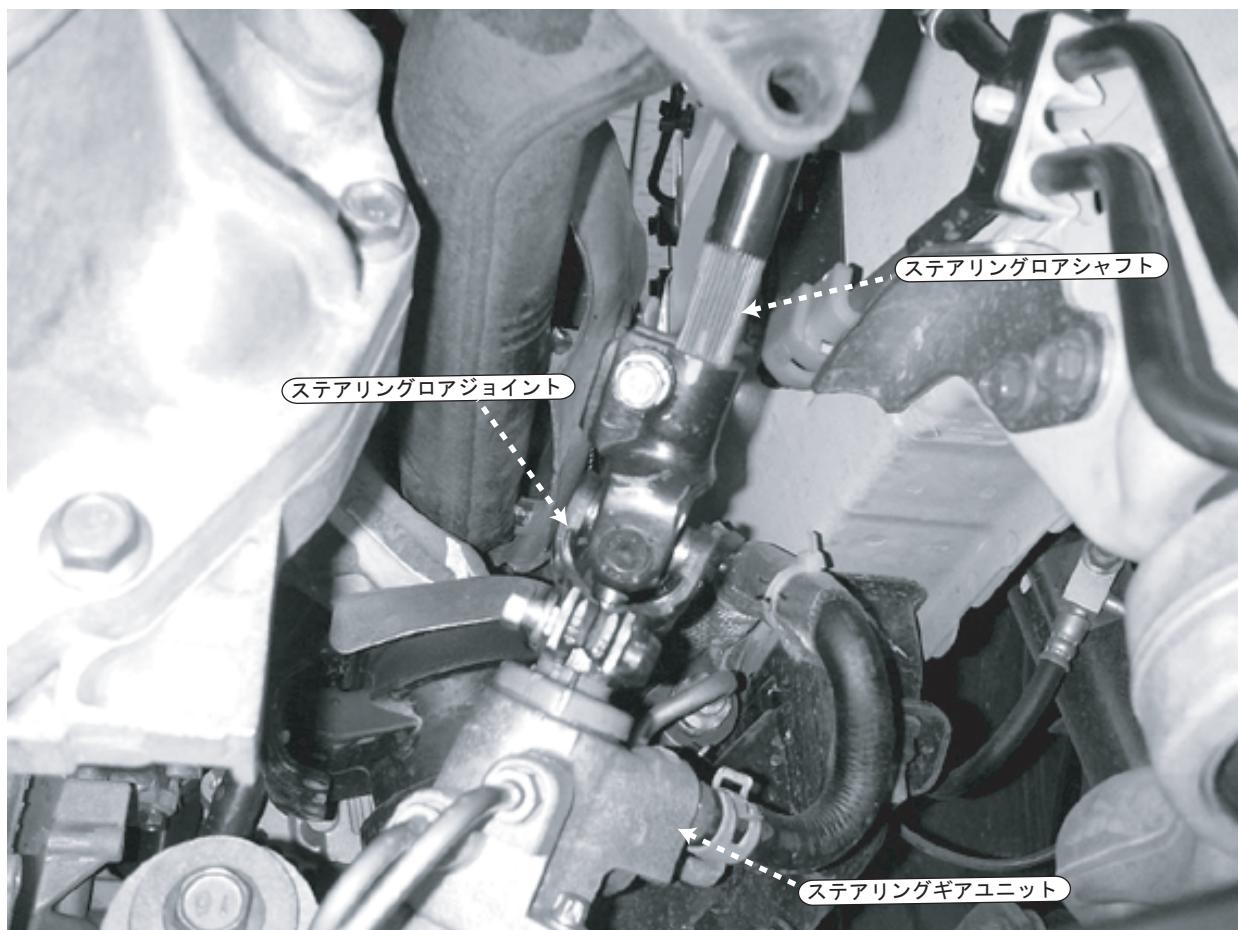
HKS MUFFLER

(14) ステアリングロアジョイントを取り外してください。 【図4】



警告

- ステアリングロアジョイント部はスプラインが一山でもずれるとVDCの誤作動を引き起こし、重大な事故の原因になります。
スプライン接続部にマーキング等をし、再度同じ位置に組付けられるようしてください。
- ステアリングは作業中動かさないでください。

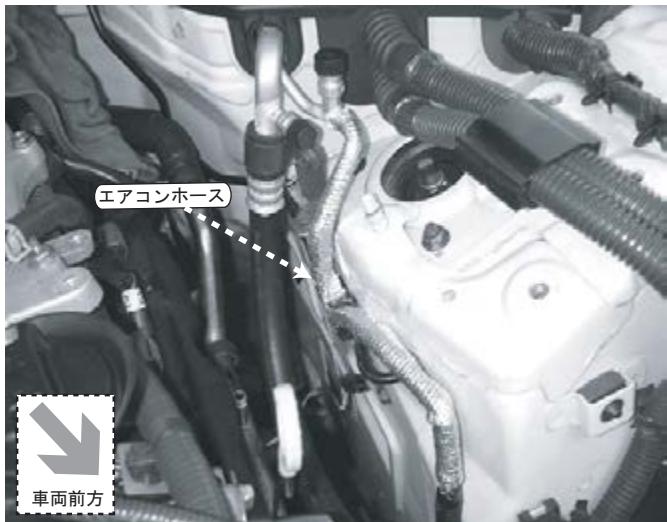


【図4】ステアリング部品周辺（車両下部右側）

(15) 運転席側エキゾーストマニホールドのO2センサーを取り外し、運転席側エキゾーストマニホールドを取り外してください。

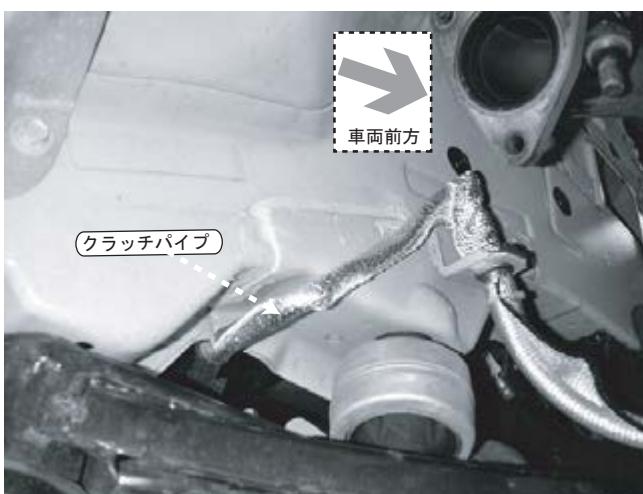
(16) 助手席側エキゾーストマニホールドのO2センサーを取り外し、助手席側エキゾーストマニホールドを取り外してください。

3.『取付前作業』

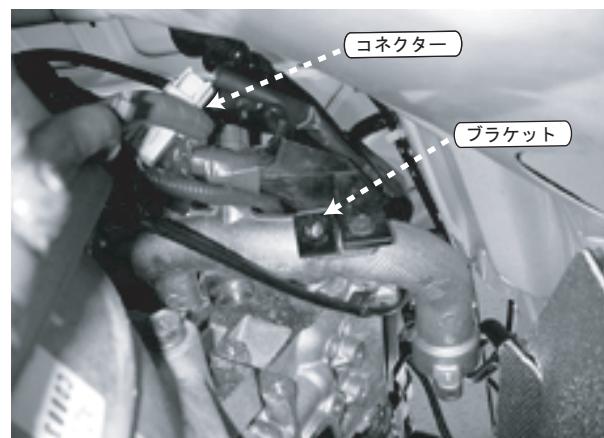
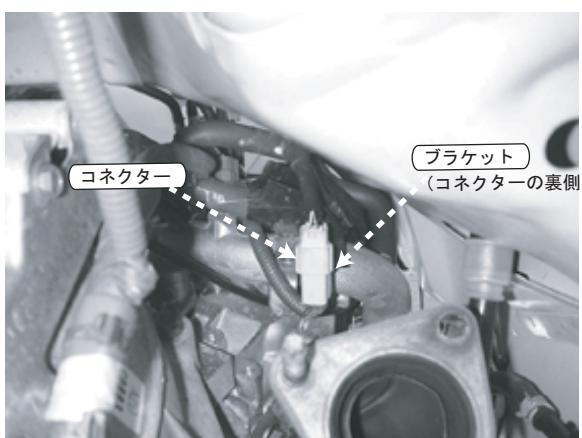


- (1) エアコンホースに、付属のサーモシールを
適当な大きさにカットして巻き付けてください。
【図5】

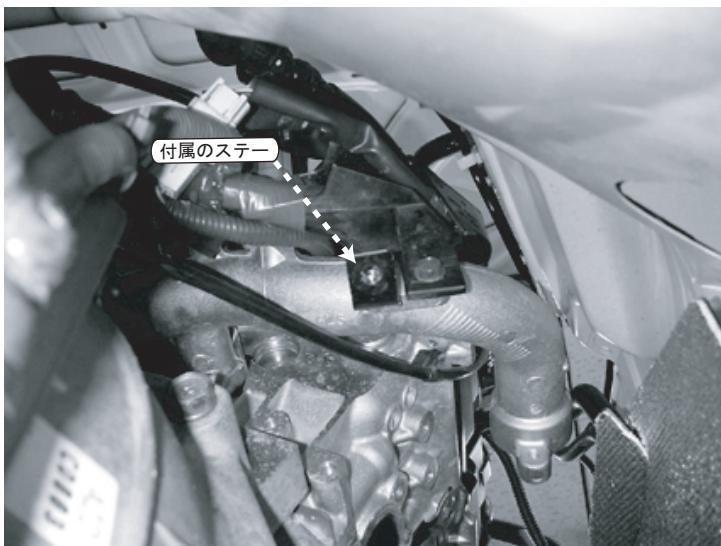
M/T車のみ作業を行ってください。



- (2) 助手席側のクラッチパイプに付属のサーモ
シールを適当な大きさにカットして巻き付け
ください。 【図6】



HKS MUFFLER



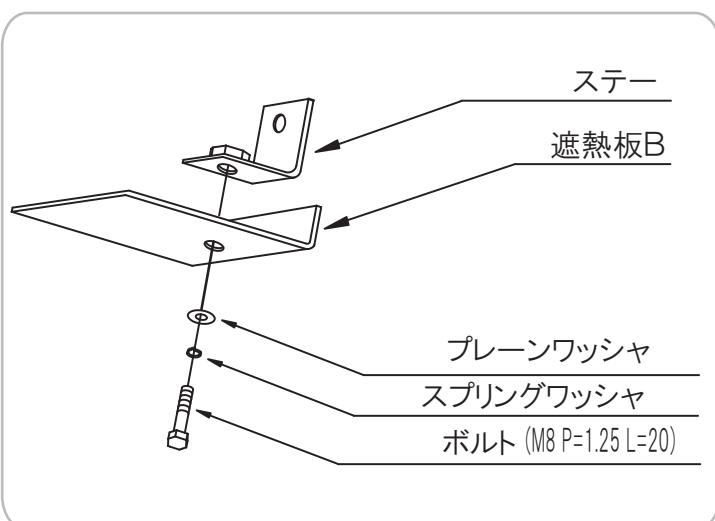
【図8】ステー固定要領（車両下部右側）

(4)付属のステーを純正ボルトを使用してブラケットを固定していたネジ穴に締付けてください。

【図8】

純正部品のボルトの締付けは、自動車メーカー指定の締付トルクに従って締付けてください。】

(5)付属の遮熱板B(小)に付属のサーモシールを適当な大きさに切って貼り付けてください。



(6)取付けたステーに、【図9】の要領で付属の遮熱板B(小)を付属のボルト (M8 L=20)を使用して締付けてください。

締付けトルク $T = 19.6 \sim 24.5 N\cdot m$
($T = 2.5 \sim 2.0 kgf \cdot m$)】

【図9】付属の遮熱板B 取付け要領

4. 『エキゾーストマニホールドの組付け』

※ 本体 Right・Left ともに作業手順は同じです。

- (1) シリンダーへッド側のフランジ面から純正ガスケットを取り外し、付属のガスケット（ヘッド側）を取付けてください。
- (2) エキゾーストマニホールドを正規の位置に合わせてください。
- (3) エキゾーストマニホールドをシリンダーへッドのフランジ面に合わせて、純正ナットを再使用して仮締付けしておいてください。
- (4) エキゾーストマニホールドの位置関係やクリアランス及びガスケットにずれがないことを確認してください。
- (5) (3) で仮締付けしてあるシリンダーへッドのフランジ面と本体フランジ部は、中心側のナットから順番に外側へ増し締付けをしながら、最終的に規定のトルクで本締付けしてください。

[締付けトルク $T=29.4 \sim 34.3\text{N}\cdot\text{m}$
 $(T=3.0 \sim 3.5\text{kgf}\cdot\text{m})$]



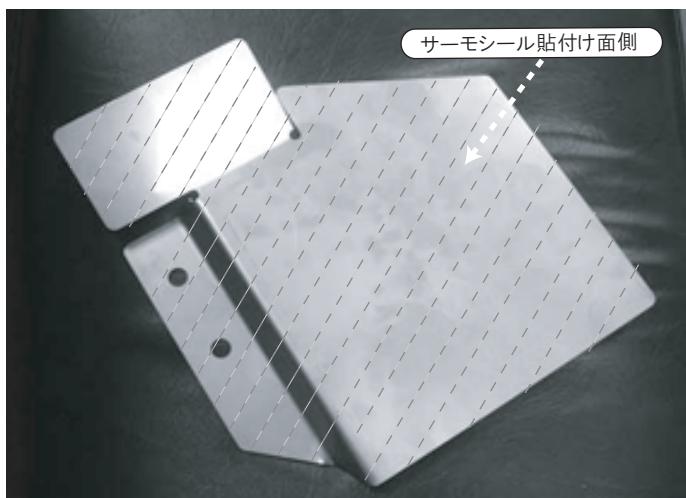
注意

- シリンダーへッドのフランジ面とエキゾーストマニホールドフランジは、均等に締付けてください。1ヶ所を集中的に締付けるとフランジ面が歪んで排気ガス漏れの原因になります。

- (6) エキゾーストマニホールド部のO2センサーを取付けてください。

お願い

- O2センサーワイヤーハーネスがねじれたり、断線しないようにしてください。
- O2センサーは、エンジンの排気ガス濃度をコントロールする上で重要な役割をもっています。



付属の遮熱板A(大)

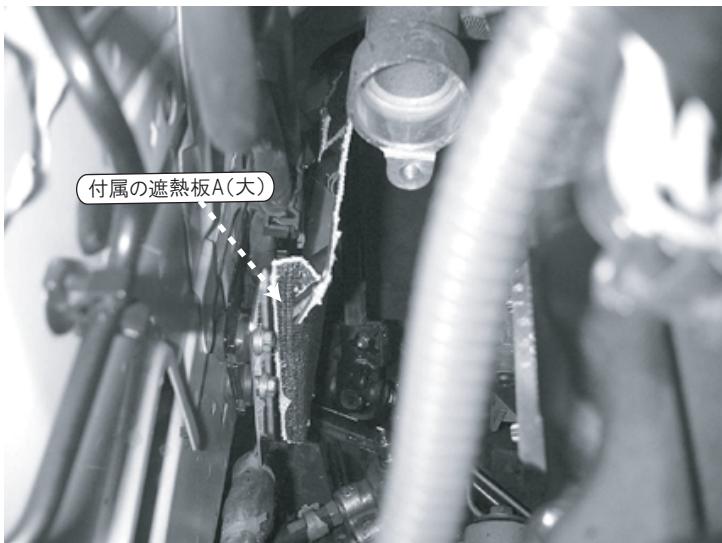
- (7) 付属の遮熱板A(大)に付属のサーモシールを適当な大きさに切って貼付けてください。

HKS MUFFLER



(8)付属の遮熱板A(大)を、運転席側にあるフューエルラインブラケットに純正ボルトを再使用して取付けてください。【図10】

[締付けトルク $T=29.4 \sim 34.3 N\cdot m$
 $(T=3.0 \sim 3.5 kgf \cdot m)$]



【図10】付属の遮熱板A(大) 取付け要領（車両上部右側）

5.『純正パーツの再組付け』

お願ひ

- 純正パーツの再組付は図1～4を参考に作業してください。
- 純正パーツのボルト、ナットの締付けは自動車メーカー指定の締付トルクに従って締付けてください。
- ホースクランプはパイプの抜け止めにかかる位置に取付けてください。

(1) ステアリングロアジョイントを元通りに取付けてください。

 注意	<ul style="list-style-type: none">● マーキング位置にずれがないか必ず確認してから締付けてください。● マーキング位置がずれていると制御装置の誤作動を起こす原因になります。● 取付け後にVDCによる誤作動がでる場合は、【図4】を参考にして、2(14)の作業を再度行ってください。不具合があったらバッテリーのマイナス端末を外してから、再度締め直してください。
--	---

- (2) 本体触媒側フランジに付属のスタッドボルトのネジ部が短い方を取り付け(1ヶ所)、付属の触媒前側ガスケット(三角)を合わせておいてください。
- (3) キャタライザーを正規の位置に合わせ、純正ボルトナットと付属の座付ナットを使用して締付けてください。
- (4) キャタライザーブラケットを元通りに取付けてください。
- (5) キャタライザー部のO2センサーを車両側コネクターに取付けてください。
- (6) マフラーを元通りに取付けてください。
- (7) ヒーターパイプフランジ部のガスケットを付属のガスケット(ウォーターIN用)に交換して、元通りに取付けてください。

〔締付けトルク T=29.4～34.3N·m
(T=3.0～3.5kgf·m)〕

 注意	<ul style="list-style-type: none">● 純正ガスケットは必ず取外してください。フランジ面に古いガスケット片が付着していたり、錆等が発生していたら、スクレーパーなどの工具で面を平らに仕上げてください。放置して組付けると水濡れの原因になります。
--	--

- (8) ヒーターホース、ウォーターホース、ウォーターバイパスホースをヒーターパイプに元通りに取付けてください。
- (9) ウォーターパイプ後方のOリングを付属のOリングに交換して、ウォーターアウトレットに差し込んで、純正ボルトを再使用して元通りに取付けてください。
- (10) ウォーターバイパスホース(3本)、ヒーターホースをウォーターパイプに元通りに取付けてください。
- (11) ハーネスクリップ(3ヶ所)をウォーターパイプに元通りに取付けてください。
- (12) エンジンヘッドカバーを元通りに取付けてください。
- (13) エアクリーナー、サクションパイプ及びゴムホースを元通りに取付けてください。
- (14) ストラットタワーバーを元通りに取付けてください。

HKS MUFFLER

(15) ラジエータドレーンプラグを元通りに取付けてください。

※ 純正パーツのドレーンプラグの締付けは、自動車メーカー指定の締付トルクに従ってください。

(16) エア抜きプラグを緩めてください。

(17) 冷却水を補充してください。又、整備要領書に従い、エア抜きを行ってください。

(18) エア抜きプラグを締め、ラジエータキャップを元通りに取付けてください。

(19) バッテリーのマイナス端末にケーブルターミナルを取付けてください。

6.『取付状況の確認』

- (1) 全体の本組付が完了したら、もう一度各部にゆるみやガタがないか、クリアランスはとれているかを確認してください。
- (2) ホースクランプ等が正規の位置に確実に取付けられているか確認してください。
- (3) エンジンを始動して、各フランジからの排気漏れやエア漏れ、各部の異常音を点検してください。エンジンオイル、冷却水や燃料の漏れがないか確認してください。



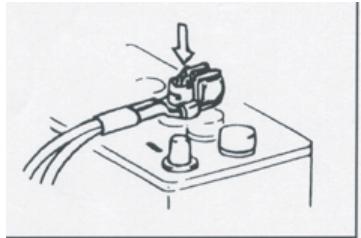
- ボルト・ナット類は適切な工具で確実に締付けてください。
必要以上に締付けを行うと、ボルト類のネジ部が破損します。
- パイプとホースの連結部分にはオイルが付着しないように注意してください。
オイルが付着した場合は、ウェスで拭き取ってください。
過給圧が上がったときにパイプが抜ける恐れがあります。
- オイルを補充する際には、その車両も応じたオイルを使用してください。

HKS MUFFLER

7.『取付後の確認』



- ケーブルターミナルをバッテリのマイナス端末に取付けてください。
取付ける際には、ショートさせないでください。
ショートにより感電、又は車両が破損する可能性があります。



始動直後は回転を上げないようにしてください。（アイドリング運転）

	始動前	始動後	停止後	走行
パイプ・ホース類の配管がまちがっていないか。	<input type="checkbox"/>			
ホースにねじれや過度の曲げがないか。	<input type="checkbox"/>			
ホースバンドが確実に締まっているか。	<input type="checkbox"/>			
ボルト・ナット類が確実に締まっているか。	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	
取付けた部品が他の部品と干渉していないか。	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	
取付けた部品がしっかりと固定されているか。	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	
バッテリのマイナス端末にケーブルターミナルが確実に取付けられているか。	<input type="checkbox"/>			
エンジンオイルがレベルゲージの H(F) ~L の間にあるか。	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	
各部からエアがもれていないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
各部からオイル・冷却水・燃料もれはないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
軽く空吹かしを2、3度行い排気ガスがもれていないか。		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
部品による干渉がないか。		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
取付けた部品が正常に作動しているか。 (目視及び計器類による確認)		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
冷却水の液面は正規の位置にあるか。		<input type="checkbox"/>		
試運転してステアリングを左右に切った際に、ブレーキング症状が出るか。		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
エアバック警告等が点灯していないか。またホーンは鳴るか。		<input type="checkbox"/>		

- 以上でエキゾーストマニホールドの装着が完了しました。もう一度、取扱説明書をよく読んで安全で快適なドライブをお楽しみください。
- 300～500km走行後、各部に緩みが無いか点検し、増し締めをしてください。

8.『維持・管理』

快適に運転していただくために、お車を運転する前には必ず日常点検を行ってください。

- 日常点検はドライバの責任です。必ず実施してください。
- ユーザーマニュアルに記載されている事項以外は専門業者に依頼してください。
- プラグは走行状況に応じて変更してください。
詳しくは専門業者にお問い合わせください。
- オイルは定期的に交換してください。オイルを交換する際には、HKS指定オイルをご使用ください。
交換目安：3.000～5.000km毎、又は3～6ヶ月毎に交換してください。

異常・故障の対応

 警告	<ul style="list-style-type: none"> ● もれ（オイル・水）が生じている場合には絶対にエンジンを始動しないでください。 ● 走行中、油圧の低下等異常を感じた場合は直ちに走行を中止し、オイルがもれていないか確認をしてください。 オイルもれが生じている場合には、エンジンを再始動しないでください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 専門業者にもれがどこからどのようにして生じているか状況を告げ、修理を依頼してください。 ・ オイルもれがひどい場合は、二次災害を防ぐため問い合わせの際に応急処置の方法を聞いて対応してください。 ・ 必ず専門業者の指示に従ってください。 最悪の場合、オイルもれにより車両火災が起きる可能性があります。
--	---

- 故障等の修理はお客様ご自身では絶対に対処せず、必ず専門業者に依頼してください。
- 走行中、異音・異臭・振動等の異常があった場合にはユーザーマニュアルに従って対処してください。

譲渡等の際の注意

- 本製品をゆずられるときは、必ずオーナーのために取扱説明書を一緒に渡してください。
- 本製品を車両より取外す際には、必ず専門業者に依頼してください。

HKS MUFFLER



株式会社 エッチ・ケー・エス

〒418-0192

静岡県 富士宮市 北山 7181

<http://www.hks-power.co.jp/>